



【感染症だより】

～新型コロナウイルスについて～

2月に入り緊急事態宣言が延長されるニュースが報道されています。とはいえ、実際の統計をみてみますと2021年1月10日にピークの1.77となった実行再生産数（一人の人が周囲の何人にうつすかの指数）は10日以後減少し続け、1月30日時点では0.77まで下がりました。また、東京都の重症者数も1月20日以降減少し続けています。

最近、変異ウイルスのニュースが報道されていますが、これに伴って重症化や死亡率が急激に増える現象はみられていません。そもそも、以前から知られていることですが、RNAウイルスに属するコロナウイルスは1ヶ月に2回程度のペースで変異し続けています。また、1月22日、日本感染症学会がマスコミに対し声明を出し、「変異種」ではなく、「変異株」と呼ぶのが正しいと説明しています。

「変異種」というのは新しい生物種を指す言葉であり、誤用だとしています。

今回報道されている「変異株」は、感染力が強くなったと言われていますが、実行再生産数が下がっていることを見ればわかるように、現時点では感染力が強くなっているとは言えません。元来持っていた基本的特性はほとんど引き継がれていて強毒になった訳でもありません。ウイルスの身になって考えれば、ウイルスは人間の細胞内に入らなければ生きていけません。ウイルスが強毒になれば人間が死んでしまいます。人間に死なれてしまうと、ウイルスは住み家を失ってしまうため、不都合が生じます。ウイルスとしては、人間が死なない程度に伝染し広がることが好都合であると言えます。つまり、強毒であれば広く伝染する前に人間が次々に死んでしまうため、広がりにくいのです。弱毒であるからこそ、広がりやすい（つまり感染力が強い）と言えます。

弱毒の風邪ウイルスであっても、免疫力の低下した人にとっては注意が必要です。引き続き、移さないよう感染予防対策をおこなっていきましょう。そして、コロナ疲れしないよう適度に外出して日光を浴び、気分転換を上手にして免疫力を高めていきましょう。

文責： 清水マリ子

表：1月しみず小児科・内科クリニックで  
診断された流行性の感染症

	感染症	患者数
1	溶連菌	45
2	胃腸炎(アノ1含む)	30
3	アノ1/2/3扁桃炎	8
4	突発性発疹	2
5	おたふくかぜ	1

※コロナ流行中、当院では感染症検査は防護服着用し必要最低限実施しています。

★あんずからのお知らせとお願い★

★**空き状況**をWebで確認出来るようになっております。**しみず小児科・内科クリニック**の予約ページかホームページから確認出来ます。ご予約は必ずお電話でお願い致します。

★**キャンセル**をされる場合は、**留守番電話で構いませんので当日8：30までに必ずご連絡**をお願い致します。利用ご希望の方が1人でも多く入れるようご協力をお願い致します。

★病児保育室あんずでの新型コロナ対策★

病児保育室内では、マスク、手洗い、消毒、換気など定期的に行っています。また、出来る限り隔離室を利用し、子ども同士が同じ部屋にならないよう配慮しております。ご予約の際には、感染予防のために新型コロナウイルス感染者との接触歴や-流行地に行っていないか等お聞きしております。ご協力のほど宜しくお願い致します。

